

平成 2 8 年度第 2 回常陸太田市総合教育会議 会議記録

開催日時 平成 29 年 1 月 18 日（水） 午後 3 時 53 分～4 時 19 分（所要時間 26 分）

開催場所 常陸太田市役所 全員協議会室（4 階）

出席者 大久保太一市長、小林憲男教育委員長、佐川美都里委員長職務代理者、大金隆子委員
稲田昌孝委員、中原一博教育長（6 名）

教育委員会事務局

菊池教育次長、江尻教育総務課長、西連寺指導室長、関生涯学習課長兼生涯学習センタ
ー館長、大畠文化課長、木村スポーツ振興課長、金澤図書館長、増山学校給食センター
所長

庶務 教育総務課（大須賀企画総務係長）

会議経過

1．開会

2．市長あいさつ

3．案件

（1）水府地区小学校の統合及び中学校との小中一貫教育に係る基本計画（案）について
（教育次長から説明、13 分）

（2）その他

4．閉会

（市長あいさつ）

平成 2 8 年度第 2 回「総合教育会議」の開催に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

小林教育委員長さんを始め教育委員の皆さんには、日ごろより市政の運営、特に教育施策の推進のため、御尽力をいただき厚くお礼申し上げます。また、本日は、お忙しい中、第 2 回目の総合教育会議ということとで、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、本市においては、平成 1 6 年の市町村合併以降、少子化による自然減と転出の増による社会減がともに著しい状況にあり、人口減少が急速に進行しております。合併した時には、6 0 , 0 0 0 人を超える人口でありましたが、直近の今年 1 月 1 日のデータでは、5 1 , 3 0 5 人となっております。年間およそ 8 0 0 人の人口減少が起こっている状況であります。

このような中、今後の常陸太田市の方向性を示す基本的指針として、「第 6 次総合計画基本構想・基本計画」を策定したところでありますが、これまでキャッチフレーズとして行ってきた「子育て上手」から一歩二歩でも先に踏み込んで、「更なる魅力の創造」を築き上げていきたいと考えております。

本日の会議は、「学校統合」が議題となっております。学校統合の問題につきましては、子どもたちの

教育環境を第一に考えることはもちろんであります、地域の皆様からも様々な意見が出されたことかと思ひます。

学校統合に伴うまちづくりを進めていくための支援策については、教育委員会だけではなく、市全体で取り組んでいく必要があります。本日は、教育委員会の皆さんとの有意義な意見交換の場としていきたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

【案件】

（教育次長）

それでは、早速案件に移ります。本会議の設置要綱第4条に会議の議長は市長をもって充てるとされておりますので、大久保市長に議長をお願いし、会議を進めていきます。よろしくお願いいたします。

（市長）

それでは、会議を進めさせていただきます。次第にありますように、本日の案件ですが、（１）「水府地区小学校の統合及び中学校との小中一貫教育に係る基本計画（案）」について」事務局から説明をしていただき、皆様からの質疑等をお受けしていきたいと思ひます。それでは、説明願ひます。

（教育次長）

お手元の資料、「水府地区小学校の統合及び中学校との小中一貫教育に係る基本計画（案）」について」をご覧ください。

ページ1ページです。計画策定の趣旨です。現在、児童生徒・園児数が減少し、学校の小規模化が進んでいるところであります。市では、平成28年7月、学校施設の環境整備について「常陸太田市学校施設整備計画」を策定しました。そして、この計画に基づき、現在、複式学級が生じており、平成30年度には複式学級が2学級生じることが予想される水府小学校と、平成30年度に複式学級が1学級、平成32年度には複式学級が2学級生じることが予想される山田小学校の水府中学校との小中一貫教育を含む学校統廃合について検討を進めてきたところであります。保護者を対象に行ったアンケート調査では、現在の学校を取り巻く状況について「何らかの対応が必要である」との意見が過半数を占めていました。これらの意見も踏まえ、児童生徒の教育環境を第一に捉え、児童生徒数の適正規模を確保するなど、よりよい環境を整えていく必要があるものと考えております。

これまで、保護者や学区内地域住民を対象に19回にわたる懇談会等を重ねてきており、様々な意見や要望等を受けてきましたが、その中でも、統合の期日、統合校の位置、統合の形式、これらについては概ねの合意形成が図られたものと捉えているところであります。

これらを踏まえまして、今後の取り組む方向性として、「水府地区小学校の統合及び中学校との小中一貫教育に係る基本計画」を策定するものであります。

続いて、2ページになります。これまでの取組経過ということで、（１）から（３）まで記載しております。まず、（１）ですが、こちらは平成27年8月に設置した学校施設検討協議会であります。昨年度の8月から3月まで、計5回の会議を開催し、将来の児童生徒の動向を踏まえた教育施設等の在

り方について検討を行ったわけであります。そして、平成２８年３月末になりますが、学校施設検討協議会より意見書・提言書を受けたところであります。次に、（２）ですが、この意見書を踏まえまして、平成２８年７月には、「常陸太田市学校施設整備計画」を策定しました。ここでは、早期的に学校統廃合を検討するものと中長期的に統廃合を検討するもの、また、普通教室・特別教室の空調設備の在り方等について市全体の計画をまとめたところであります。

続いて、ページ３ページ、（３）ですが、（２）の学校施設整備計画に基づき、具体的に水府地区の小・中学校について検討を進めるということで、保護者や学区内地域住民を対象に懇談会を開催したわけでありますが、その開催経過を記載したものであります。平成２８年７月から始まり、１２月の説明会まで計１９回の懇談会・説明会・アンケート調査を行ってきました。小・中学校の保護者はもちろん、幼稚園や保育園の保護者を対象にした懇談会・アンケート調査も行ってきたところであります。また、小中一貫教育の検討ということで、本市の中では、先進的な事例であります里美小・中学校の授業参観、施設見学、里美小・中学校の先生方との懇談会も行ってきたところであります。統合や小中一貫教育については、さまざまな個別の意見はありますが、１２月の保護者説明会、また、学区内地域住民説明会をもって、統合の期日、位置、形式については概ねの合意形成を図ることができたところと認識をしております。

続いてページ４ページであります。３．水府地区小・中学校の現状を記載してあります。児童生徒数の推移ですが、水府小では平成２８年度に複式学級が生じており、平成３０年度には複式学級が２学級生じること、また、山田小ですが、現在は複式学級がありませんが、平成３０年度には複式学級が１学級でき、平成３２年度には複式学級が２学級生じることが予想されています。その下、（２）ですが、学校施設の状況でありまして、資料の表、左側に校舎建築年月がありますが、小学校では築３６年から３７年が経過していること、中学校では築５０年経過していることということで、それぞれ施設としては老朽化の見られる施設となっています。（３）については通学環境ですが記載のとおりです。

続いて資料のページ５ページ、４．実施計画の内容です。ここに統合期日、統合校の位置、統合形式について記載しております。期日は平成３０年４月１日、位置は常陸太田市町田町６９６ということで、現在の水府中学校としております。形式は施設一体型小中一貫校です。平成３０年４月に水府小学校と山田小学校を統合し、水府中学校を含めた小中一貫教育を進めていく考えであります。同時に、水府中学校敷地に新校舎を建設しまして、平成３１年８月の新校舎竣工を目指すものであります。利点といたしましては、資料に記載のとおり。もちろんそこまでにいく課題も生じてくるものであります。現在の中学校の校舎に小学生を迎え入れることとなりますので、施設環境の整備を進めていく必要があります。このことについては、次年度の予算編成の中から一部改修を行っていきたい考えであります。また、保護者懇談会やアンケート調査等からも多くの意見がありましたが、通学路の変更に伴う安全対策の確保が課題とされてきます。このことについては、路線バスのルートやダイヤの調整、あるいは特に小学生低学年生への対策となりますが、水府中入口から正門までの坂道について、その安全性の確保を図るために路線バス延伸等につきましても、協議検討をしていきたいと考えています。

統合となりますと、(2)の児童生徒数の見込であります。平成30年度は児童数105、生徒数79、その後については資料に記載がありますが、平成34年度までの推移を記載しているところがあります。今後の推進スケジュールですが、この計画が策定されますと、統合調整会議を設置します。ここで資料、ページ6ページに所掌事項が記載されているようなことを協議検討していきます。先ほど説明した路線バス延伸等についても、会議委員の意見を取りまとめていきたいと考えています。また庁内関係については行政経営会議への説明、学校長会、幼稚園長会への説明、また、市議会への説明、施政方針等で関係機関や保護者や地区住民に方々についても、お知らせをしていきたいと考えております。その後、学校名を決定し、議案上程議決とし、その後も統合調整会議を活用しながら、校歌・校章等の詳細事項の検討を進めていきたいと考えています。平成30年3月には3校の閉校式典、水府小・山田小から現在の水府中への引越、平成30年4月には小中一貫校としての開校式典、また、新校舎建設いたしますと平成31年8月に竣工することで計画していますので、現在の水府中から新しい統合校舎への引越をし、9月には竣工式典ということで進めていきたいと考えています。最後に(4)統合調整会議の設置ですが、委員構成といたしまして、校長・教頭、PTA会長・副会長・女性ネットワーク委員長に市教育委員会教育総務課を加え組織をしていきます。その中で、協議・検討する事項は、資料に記載のとおりであります。

以上の内容で計画を策定し、進めていきたいと考えておりますので、皆様からのご意見をお願いいたします。

(市長)

ただいま、(1)「水府地区小学校の統合及び中学校との小中一貫教育に係る基本計画(案)」について事務局から説明がありました。皆様からご意見・ご質問等があれば発言をお願いいたします。

(市長)

説明の中に新校舎の建設があったが、体育館はどのように考えているか?

(教育次長)

校舎を建設しその後今の校舎を解体。その後に体育館を建設し現在の体育館を解体していきたいという考えです。現在の水府中学校校舎もそうですが、体育館も46年程度経過しています。

(市長)

先日、水府地区において新年の正副町会長賀詞交歓会があった。その場でも、今の内容について説明というか報告というか地域の皆さんにお示ししてきた。その中では、特に異論が出されたというようなことではなかった。

(佐川委員)

学校統廃合については、地区住民一人一人にとっては、いろいろな意見があるでしょうが、若い方に聞いたところ、旧道沿いの水府中入口から水府中学校正門までの坂道が長いので、低学年生の体力的なことと安全面のことが心配であるというような声は聞いたところです。

(教育長)

資料のページ5ページ、基本計画（案）の統合形式ですが、今は法改正により、学校種の一つに義務教育学校というものがあります。施設一体型小中一貫校となっていますが、義務教育学校も含まれるものでして、このことは内部あるいは統合調整会議において議論をし、義務教育学校も視野に入れて検討をしていきたいと思っています。義務教育学校とするか、里美小中学校のような小学校・中学校とするのか、今後の検討課題であります。義務教育学校の場合、小学校6年生の時の卒業式がない、いわゆる前期課程の修了式になります。中学校の入学式もなく、後期課程の開式式となります。一般的には馴染みがないという思いでしょうけど、保護者はやはり入学・卒業という一つの区切りが欲しいと考えるものかと思います。ただ、教職員の定数上の問題においては義務教育学校にした方がプラス1となる利点があります。このことは、これまでの統合・小中一貫教育の推進に係る懇談会等での議論の核となるものではありませんでしたが、どうしても少子化が避けられない現状において、子どもたちにとってどういった教育環境がよいのか、検討をしていきたいと考えています。

（市長）

わかりました。その他意見等がありますか？なければ、この計画を基に、今後の事務の調整を進めていっていただきたいと思います。

続いて、「その他」に移りますが、本会議の案件以外の件でも結構です。何か委員の皆さんからありますか？

（教育次長）

事務局では特にありません。

（教育長）

1点だけお話しします。本日の案件は水府地区の小学校・中学校の件でしたが、水府地区については幼稚園・保育園があります。保育園については、市の子育て支援施策が功を奏して保育需要が高まっています。幼稚園については入園希望児童数が減少傾向にあります。地域には就学前児童の教育保育施設が必要となれば、やはり、保健福祉部との連携が必要となりまして、認定こども園への移行を速やかに進めていきたいと考えています。

（市長）

市内には新しく民間保育園・さくら保育園が開園しました。そこでは土日の休日保育や夜は8時まで保育する延長保育・長時間保育を行っています。市内全体で見ましても保育園入園児童数は690人であったものが今では840人程度まで増加しています。150人ほど増えています。市としてもこのことは狙いであったわけですが、労働人口、15歳から64歳までの人口が56%しかいない、このことをもっともっと増やしていきたいし、子育てしながら働く若い人を増やしていきたい。市内に住む若い方の働く環境というか条件というかを改善させていきたい。そして市民所得を上げていきたいと考えています。保育需要が伸びていますが、その中で待機児童が多くなっている現状もありますが、これをゼロにしたいとも考えています。なので、水府地区も幼稚園と保育園がありますが、認定こども園への移行を進めていかなければならない。保護者はニーズが違いますよね。幼稚園の場合

は、自宅からより近いところに幼稚園があった方がよい、保育園の場合は、勤めている方なので通勤途中に保育園があってそこに預けたいというように送迎の利便性を考えるものです。なかなか市内に大規模な事業所を確保することは難しいのですが、市内に住んで市外に勤めに行くこともありで、常陸太田地区もそうですが、のぞみ幼稚園についても認定こども園への移行について検討していくことを考えていきたいと思っています。

その他何かありますか？なければ、本日の案件はすべて終わりましたので、進行を事務局にお返しします。

（教育次長）

ありがとうございました。本日の議案、水府地区の小学校の統合、そして中学校との小中一貫教育に係る基本計画については、この計画に基づき、進めていきたいと思います。また、幼稚園についても認定こども園への移行について検討を進めていきたいと考えています。また、7月に策定した学校施設整備計画の中では、早期的統廃合ということで、西小沢小学校の統合についての検討を記載しています。西小沢小学校では平成31年度から複式学級が生じ、平成33年度には複式学級が2学級生じることが予想されています。今後の人口の社会増減、市が行う施策の成果も踏まえながら、峰山中学校区の小学校との統合について検討を進めていきたいと考えています。

それでは、本日はありがとうございました。以上をもちまして第2回総合教育会議を終了いたします。

平成 2 8 年度第 2 回総合教育会議 名簿

(構 成 員)

	氏 名	役 職 等
1	大 久 保 太 一	常 陸 太 田 市 長
2	小 林 憲 男	教 育 委 員 会 委 員 長
3	佐 川 美 登 里	教育委員会委員長職務代理者
4	大 金 隆 子	教 育 委 員 会 教 育 委 員
5	稲 田 昌 孝	教 育 委 員 会 教 育 委 員
6	中 原 一 博	教 育 委 員 会 教 育 長

(教 育 委 員 会 事 務 局)

	氏 名	役 職 等
1	菊 池 武	教 育 次 長
2	江 尻 伸 彦	教 育 総 務 課 長
3	西 連 寺 有	指 導 室 長
4	関 勝 仁	生涯学習課長兼生涯学習センター館長
5	大 畠 敬 一	文 化 課 長
6	木 村 久 男	ス ポ ー ツ 振 興 課 長
7	金 澤 栄	図 書 館 長
8	増 山 泉	学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長

(庶 務)

	氏 名	役 職 等
1	弓 野 政 人	教 育 総 務 課 課 長 補 佐
2	大 須 賀 真 吾	教 育 総 務 課 企 画 総 務 係 長